



泉小だより



学校教育目標 心豊かでたくましい子 ○深く考える子 ○がんばりぬく子 ○助け合うやさしい子

生きる力 ～ 「思いやり」 「みんなのために」 ～

校長 小笠原 俊範

最近、子どもたちのみんなのために動く姿、思いやりのある姿をよく目にします。

【「みんなで幸せに」 前向きな言動】

- 「みんなで楽しく食べたい」という6年生の子たちの声が発端となり、「みかん狩り in 泉小」を行いました。準備、お知らせポスター、当日の運営など行いました。
- 4・5・6年生の委員会活動でも新たな取組がありました。図書委員会は、「読書週間CM」を作成し、各学級で読書の啓発活動を行いました。放送委員会では、「泉小ラジオ」を行い、昼の放送が楽しくなる工夫に取り組んでいます。児童会の「あいさつ運動」には、あいさつ運動サポーターとして25名の子どもたちがすすんで立候補し、児童会役員と一緒に活動しました。

その他にも様々な場面で、子どもたちから「みんなのためにやってみたい」という前向きな言動がたくさんあります。子どもたちの主体性や積極性の成長や、自分のことだけを考えずに、人のことまで考えることのできるあたたかさを感じ、とてもうれしく思っています。

【心あたたまる やさしい言動】

- みかん狩りで、みかんを木からとる際に、6年生の子どもたちは、自分たちが楽しんでとるのではなく、下級生に「みかんをとりたい人？」と聞いて、とらせてあげていました。しかも、脚立を抑え、安全にとれるような行動もしていました。
- たてわり班活動でのなごなわとびの練習や本番で、上級生が、跳ぶことが苦手な子の背中をそっと押して、入るタイミングを教えていました。また、下級生に合わせて縄を回すスピードを調節したり、跳べたときは「跳べたね。」とほめてあげたり、引っかかっても「大丈夫」と声をかけてあげたりしていました。
- トイレのスリッパの整頓がよくないと、人知れず整頓している子がいます。
- 入学説明会では、新入学児体験活動の際、5年生の子どもたちが、ランドセルの折り紙やメッセージなどをプレゼントとして、園児一人一人に渡していました。

子どもたちの心のあたたかさが形になって表れています。どの場面も思い返すと、本当に心があたたかくなります。

これらの言動や心のもち方は、「生きる力」だと考えます。人として、よりよく生きるために最も大切な力であるとも考えます。きっと私たち教職員が、目にしていないことももっとたくさんあります。今後もこれまで以上に子どもたちをよくみて、認め、励まし、支援していきたいと考えています。「喜んで登校 満足して下校 行きたい学校」を目指します。



— 伝統行事や文化的な活動を学ぶ —

3学期は、日本で昔から伝えられ大切にされてきた伝統行事や文化的な活動に関連した取組を数多く行いました。

1年生は、1月下旬に泉保育園の園児を招待し、「おもちゃまつり」を行いました。自分たちの作ったおもちゃで遊んでもらいました。2年生では、泉カルタをつくり、今後カルタ大会を行います。1・2年生では、2月初旬に「節分集会」を行い、子どもたちは、豆まきの由来や意味を知るとともに、自分の心の弱い鬼を追い出すことができました。4年生では、音楽「日本の音楽に親しもう」の授業で、地域の方を講師としてお招きし、箏（こと）の音色や響きを味わったり演奏の仕方を学んだりしました。子どもたちは、音の出し方を覚え、2～3人で音を合わせて「さくら さくら」を演奏することができました。



— 地場産業のよさを知る ～花育教室～ —

田原市は全国有数の花の生産地であり、「日本一の花のまち」と言われています。2・4・6年生を対象に花育教室を開催しました。『花育』とは「花や緑に親しみ、育てる機会を通して、人を思いやる優しい気持ちや美しさを感じる気持ちを育むこと」です。また、フラワーアレンジメントを体験することを通して、子どもたちの創造性や豊かな感性を培うこともねらいとしています。

本校は、JA愛知みなみのみなさんのご協力で、毎年実施することができています。本来は、必要となる花材代は、いずみ鉢物園芸組合さんのいずみ鉢物園芸組合様のご厚意でご負担いただいています。本当にありがとうございます。子どもたちが、ふるさとの花や園芸農業を知り、将来の地場産業を支える人材になることや、ふるさと泉を大切に思う気持ちを育ててくれたらと思います。



— 泉小 ブログ —

子どもたちの活動の様子、学校の様子などをブログにて情報発信しています。ご覧いただけましたら幸いです。



お知らせ

2月7日(土)に、16本の枯れた松の木を田原市農政課に依頼し、伐採していただきました。「松の学校」と呼ばれ、歴史のある松の木が何本もなくなってしまうことは、たいへん残念です。しかし、安全確保のため、他の松の木を守るために仕方がありません。今後、周辺の松には、薬剤の樹幹注入を行う予定です。また、松の木の植栽について、「県民参加の緑づくり活動推進事業」に申請中です。

